

●平成30年(2018年)の日本の地震活動

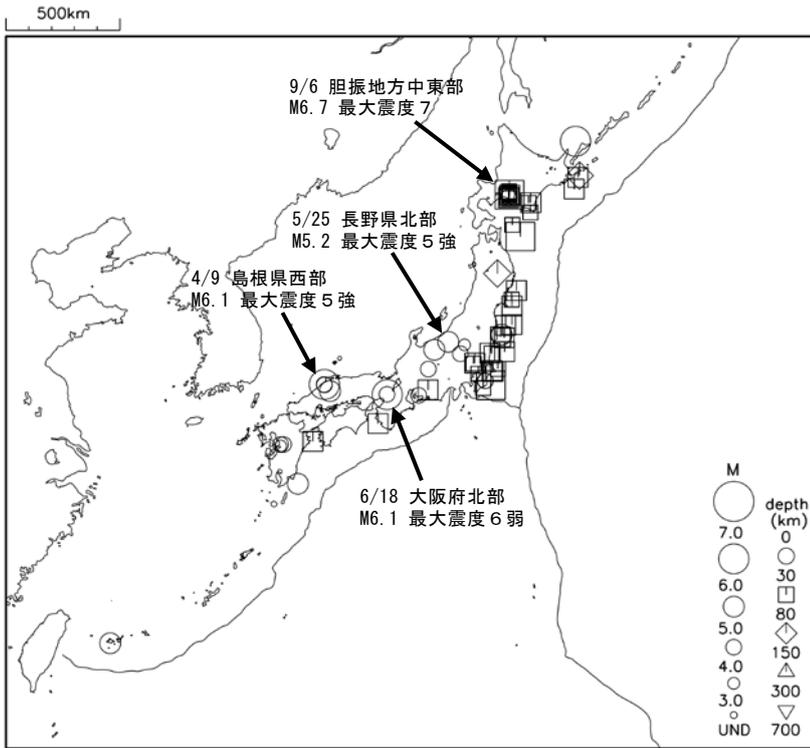


図1 平成30年(2018年)に最大震度4以上を  
観測した地震の震央分布図  
最大震度5強以上を観測した地震に矢印をつけた

[概況]

2018年に国内で被害を伴った地震は4\*回(2017年は5回)発生した。死者・行方不明者を伴った地震は、6月18日に大阪府北部で発生した地震(M6.1)と「平成30年北海道胆振東部地震」の2回(2017年はなし)であった。

震度1以上を観測した地震は2,179回(2017年は2,025回)、最大震度4以上を観測した地震は78回(2017年は40回)、最大震度5弱以上を観測した地震は11回(2017年は8回)であり、2018年中に観測した最大の震度は、9月6日に胆振地方中東部で発生した地震(M6.7)で観測された震度7であった(図1)。

M6.0以上の地震は17回(2017年は9回)発生した。過去96年間の地震回数(中央値)が16回であることから、ほぼ平均的な発生回数であった(図4)。2018年中で最大規模の地震は、2月7日に発生した台湾付近の地震(M6.7)と9月6日に胆振地方中東部で発生した地震(M6.7)であった(図2)。

日本で津波を観測した地震(海外で発生した地震を含む)は、5月6日に鳥島近海で発生した地震(M5.7)の1回であった(2017年はなし)(図4)。津波注意報、警報の発表はなかった。

\* 9月6日以降に、北海道胆振地方で発生した一連の地震活動(「平成30年北海道胆振東部地震」)により生じた被害については1回として扱った。

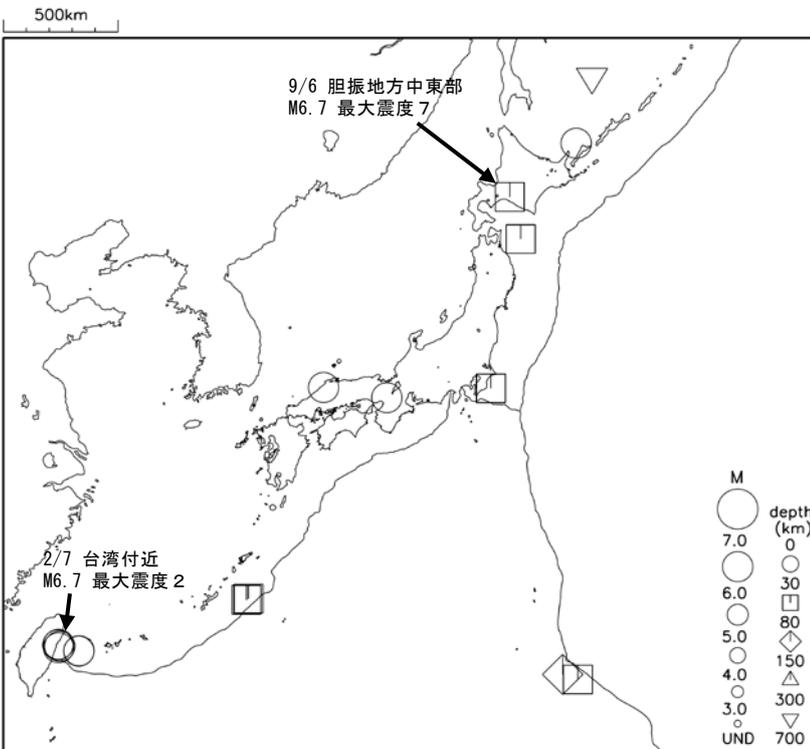
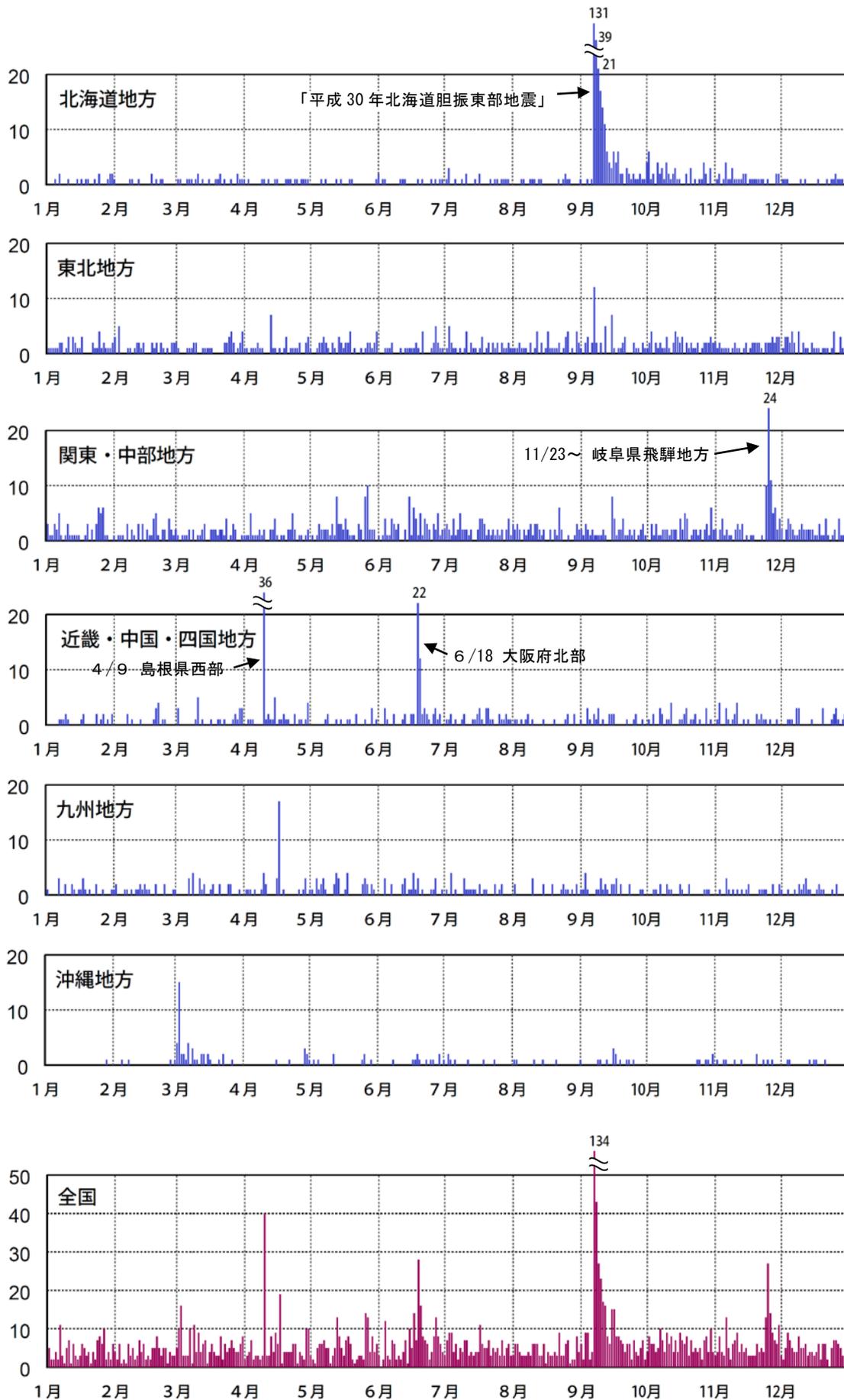


図2 平成30年(2018年)に発生した  
M6.0以上の地震の震央分布図  
2018年中で最大規模の地震に矢印をつけた

平成30年12月 地震・火山月報(防災編)



2018年の1年間に  
最大震度4以上を  
観測した地震回数  
(最大震度別)

最大震度	回数
4	67
5弱	7
5強	2
6弱	1
6強	0
7	1
合計	78

図3 平成30年(2018年)に震度1以上を観測した日別回数(全国及び各地方別)

6つの地方(北海道地方、東北地方、関東・中部地方(三重県を含む)、近畿・中国・四国地方、九州地方及び沖縄地方)に分割した。

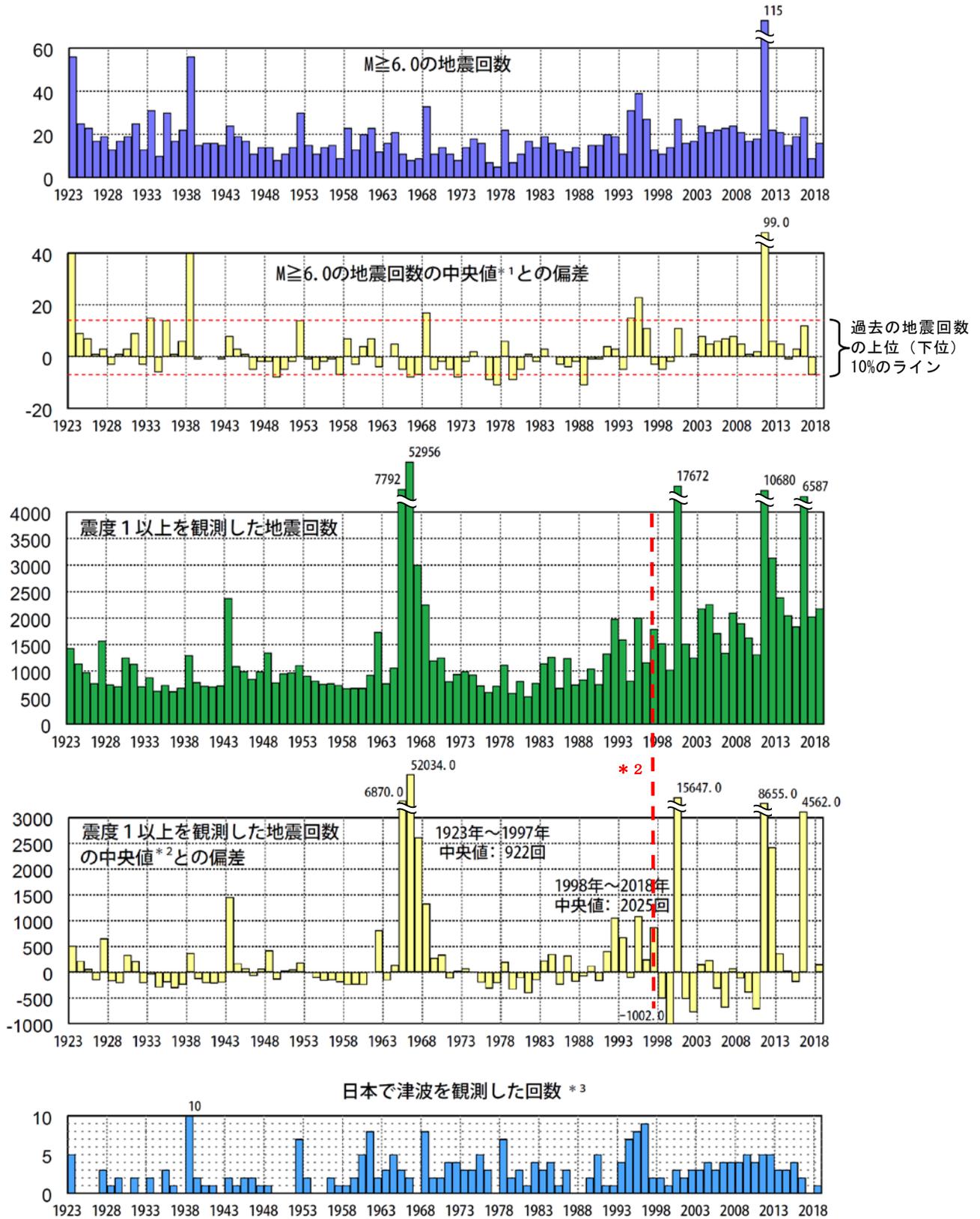


図4 全国のM $\geq$ 6.0、震度1以上および津波を観測した年別地震回数(1923-2018年)

- \* 1 M $\geq$ 6.0の過去96年間(1923~2018年)の中央値は16回/年であった。
- \* 2 震度1以上を観測した地震の回数を比較するにあたっては、近年、震度観測点が増えたことを考慮する必要がある。ここでは、地方公共団体の震度計のデータを活用開始した時期(1997年11月)を考慮し、1998年を区切りとして、その前後で各々中央値を求めて比較した。なお、中央値からの偏差が大きい1965~1967年には松代群発地震、2000年には新島・神津島の地震活動、2011年には「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」、2016年には「平成28年(2016年)熊本地震」が発生している。
- \* 3 海外で発生した地震を含む。また、過去の津波を観測した地震回数については、津波の観測点数や観測手法等が異なるため、一概に比較することができないことを考慮する必要がある。